

学習内容報告書 フォーマット 1

学校名	新潟市立真砂小学校
授業者	守屋 繭子、渡邊 晴佳

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

真砂“海学プロジェクト”～4年 海を守る～

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

27年間続けている海岸清掃をきっかけに、地域の海岸に漂着するごみ（マイクロプラスチック、外国からのごみ、海岸利用者のごみなど）を分類した。大好きな真砂の海を守るために、海水浴シーズン前に、啓発ポスターを作成し、海の施設及び学区の施設や商店に展示してもらい、利用者に呼び掛けた。今年度は、ポスターだけでなく、啓発動画も作成し、その二次元コードをポスターに貼り付けた。

また、今年度は当校と類似した取組を行う鹿児島県与論町立茶花小学校とオンライン交流を行い、自分たちの取組について振り返り、新たな視点を得ることができた。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

学区にある市内2番目に大きな海水浴場を当校の環境資源と位置付け、27年間取り組んでいる海岸清掃を皮切りに、海の環境保全を当校及び地域の文化と位置付けることをねらいとする。

第4学年は、美しい海岸を維持するための取組を行うことを目的とする。また、自分たちの取組を振り返るために、似た取組を行う他校と交流する。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 自分たちの地域への環境美化意識の向上
- 効果的な啓発活動を行う情報発信力
- 他校との取組を比較し分析する力
- 他校の取組に学ぶ謙虚な態度

1-7. 単元の展開（全40時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海岸清掃に取り組むことを通じて、地域の環境美化への意識を高め、啓発活動に取り組む。 ・ 全校海岸清掃に取り組む。 ・ 海岸に落ちているごみの種類を調査する。 ・ 外国から漂着するごみを知る。 ・ 地域の海の環境を守るために、何ができるかを考える。 ・ 海の環境保全を働き掛ける啓発ポスターを作成し、掲示してもらおう。また、動画を作成し、二次元コードをポスターに掲載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海岸清掃に取り組むことを伝え、どのような取組をしてみたいかと問う。 ○ 海岸清掃を通して、気付いたことを問う。 ○ 地域の海の環境を守るために、何ができるかと問う。 <p>【外部連携】 啓発ポスターを展示してもらえる地域の施設を探し、お願いする。</p> <p>【評価】 自分たちの思いを込めた啓発ポスターを作成することができたか。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学区の海に流れ込む川の水質調査を行う。 ・ 海水浴シーズン後の海の水質調査を行う。また海に流れ込む川の水質調査も行う。 ・ 外部機関から「海の汚れは川の汚れ、川の汚れは家庭排水の汚れ」であることを学ぶ。 ・ 家庭排水で気を付けることを家族に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海水浴シーズン後の海はきれいなのかを問い、どのようにしたら調べられるかを考えさせる。 ○ 海が汚れる理由を問う。 ○ 川が汚れる理由を問う。 ○ 家庭で気を付けること及び自分たちにできることを問う。
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の海洋教育実践校の中から、当校と類似する取組を行う学校を選び、実践交流会を行う。 ・ 自校の取組と比較し、自分たちの取組との共通点や相違点を明らかにする。 ・ 今後取り組んでみたいことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの海の環境を守るために、他にできることはないかと問う。 ○ 自分たちの取組との共通点や相違点を問う。 ○ 関心のある学校の取組について不明な点やもっと知りたいことを問う。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

○ 漂着ごみを分類した結果を基に、自分たちにできることを考える。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○ 漂着ごみの種類と量を分類したグラフを見て、自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・圧倒的にプラスチックごみが多いよね。・プラスチックごみを減らしたら、海岸はきれいになるよね。・去年の4年生はポスターを作成していたよ。・テレビで取材してもらえたらいいな。 <p>○ 働き掛ける対象を考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・誰がプラスチックをたくさん捨てたのかな。・海を利用する日本人もごみをたくさん出しているんだよね。・これから海水浴シーズンだから、海を利用する人が増えるよ。・気を付けないと、また海岸が汚れるかも。・まずは、この夏に海水浴で海を利用する人に呼び掛けたい。 <p>○ 呼び掛け方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・ポスターを作って貼ってもらおう。・今の時代だから、動画はどうかな。	<p>○ 前時までに作成した漂着ごみの種類と量を分類したグラフを提示し、これから自分たちにできることは何かと問う。</p> <p>○ 海岸の環境保全のために、誰を「対象」と定め働きかけるかを問う</p> <p>○ 海水浴を利用する人に、どのようにして呼び掛けるとよいかを問う。</p>

3. 今回の活動の自己評価

○ 過去2年、海岸清掃で漂着ごみの調査を行い、グラフ化して、ポスターによる啓発活動を行ってきた。ポスターのメリットは、常時掲示しておくことができることにあるが、実際どれだけの人に見てもらえ、どれだけの効果を挙げているか、正直評価できなかった。

今年度、児童から動画（YouTube 配信）でも啓発活動を行いたいという考えが出された。動画は視聴回数が分かるため、子どもに評価を返すことができ、よい手段であると再確認できた。実際の再生回数は、新聞の取材を受けたこともあり、100件を超えた。

○ 昨年度もオンラインで他校と交流したが、活動内容が異なる学校であった。そこで、今年度は同じような取組を行っている学校を意図的に選び、より学び多き機会になるようにした。鹿児島県与論町立茶花小学校では海岸にごみ箱を設置して、市民が自発的にごみを拾い、捨てれるようにしているなど、当校にない取組を学ぶ機会となった。

ただ、今年度のように、よい交流相手が見つければよいが、そうとも限らない心配もある。

4. 今後の課題

○ 今年度は、当校の特色ある教育活動である環境保全を、地域にまで発展するよう試みた。次年度も、地域を巻き込んで取り組んだり、地域に積極的に発信していきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

○ 特になし。